

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行  
2021年3月期  
決算説明会資料

2021年5月12日(水)

- I. 2021年3月期決算について
- II. 2022年3月期の戦略及び見通し
- III. 補足情報

# I . 2021年3月期決算について

## < 2021年3月期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	20/3月期	21/3月期	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	26,197	25,040	△4.4%	・国内は、半導体関連向けや自動車関連向け販売は底堅く推移したが、全体的にはコロナ禍の影響により前年割れ ・海外は、スマートフォン向け販売が好調に推移
営 業 利 益	1,328	1,272	△4.2%	・売上総利益率が、0.2P改善 ・販管費は、前年比△2.3%
営 業 利 益 率	5.1%	5.1%	±0P	
経 常 利 益	1,435	1,384	△3.5%	
経 常 利 益 率	5.5%	5.5%	±0P	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	972	949	△2.4%	
当 期 純 利 益 率	3.7%	3.8%	+0.1P	

### Point !

- 連結売上ではコロナ禍により前年を下回ったものの、半導体、電子部品、自動車・車載部品向けに復調の兆し

# I. 2021年3月期決算について

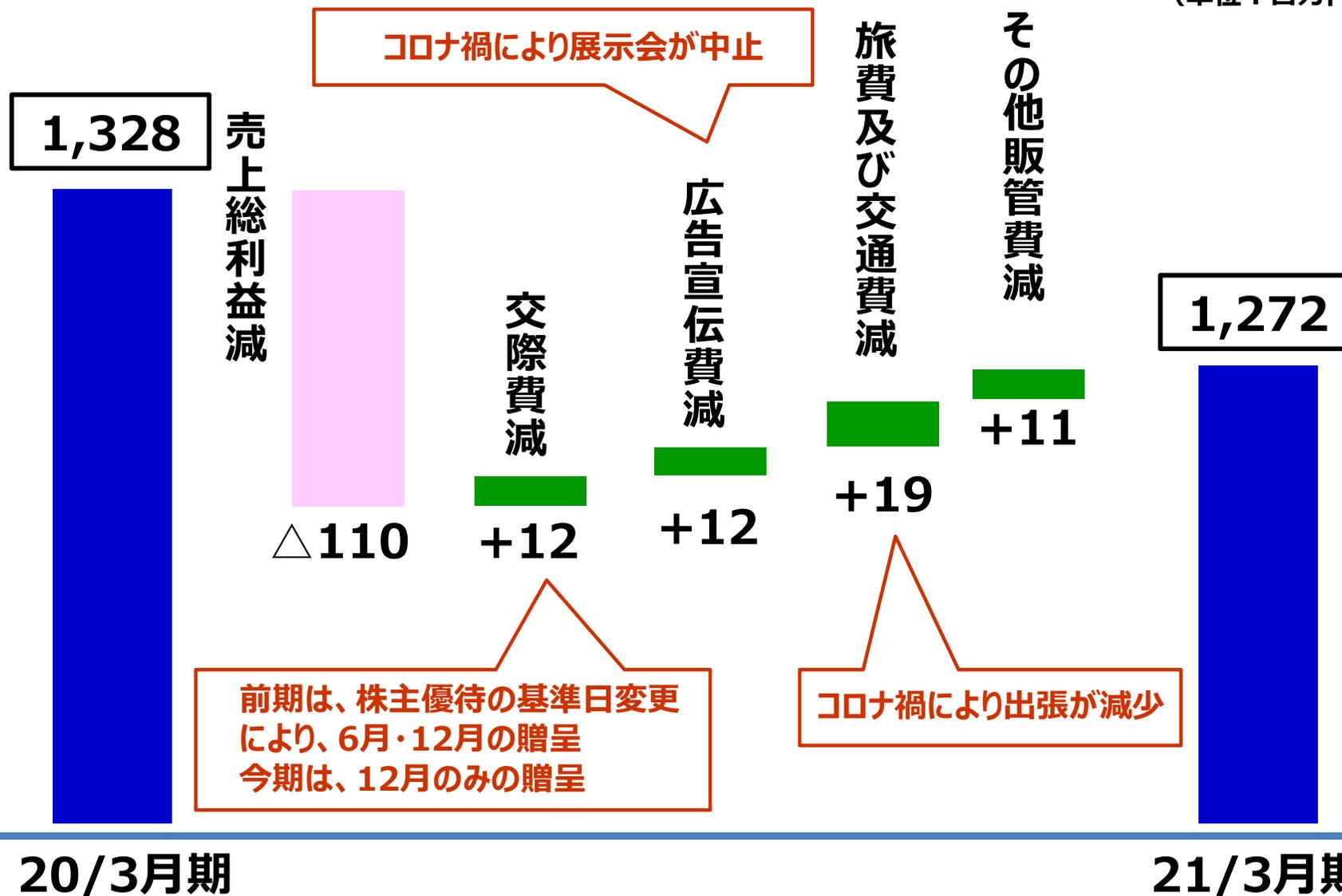


株式会社

鳥羽洋行

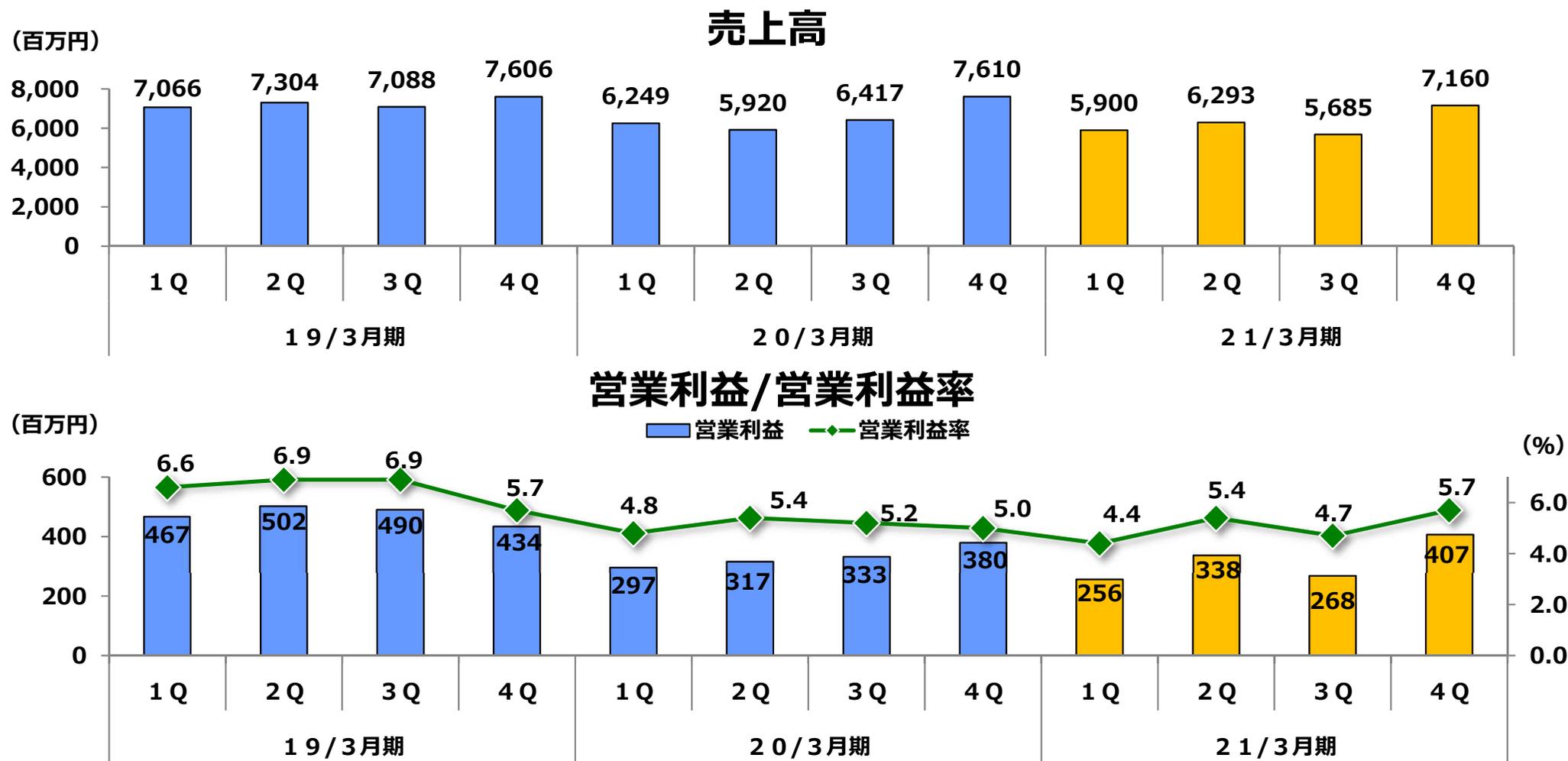
## <連結営業利益増減分析>

(単位：百万円)



※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

## <四半期毎の売上高・営業利益の推移>

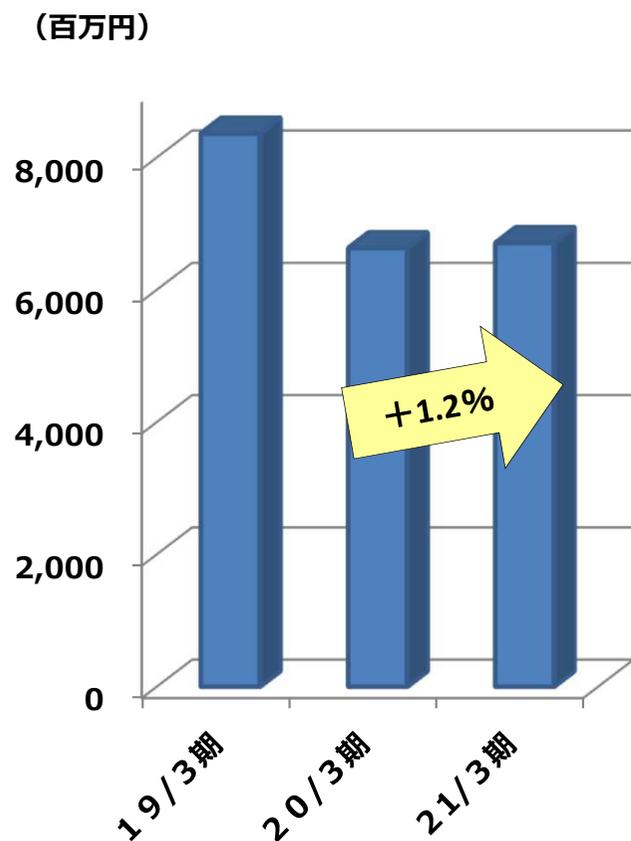


**Point !**

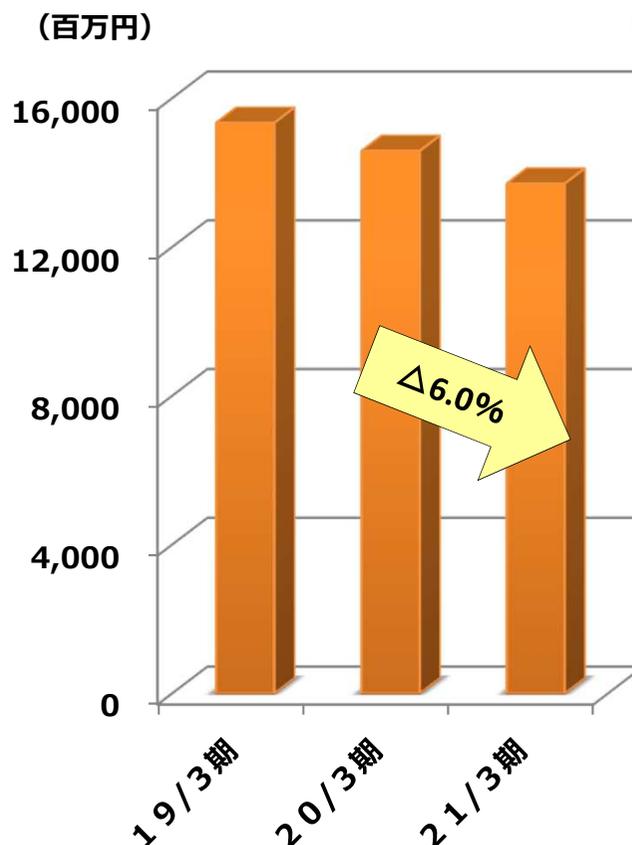
- 前年を下回る水準で推移したものの、第4四半期より回復の兆し

## <部門別売上高推移>

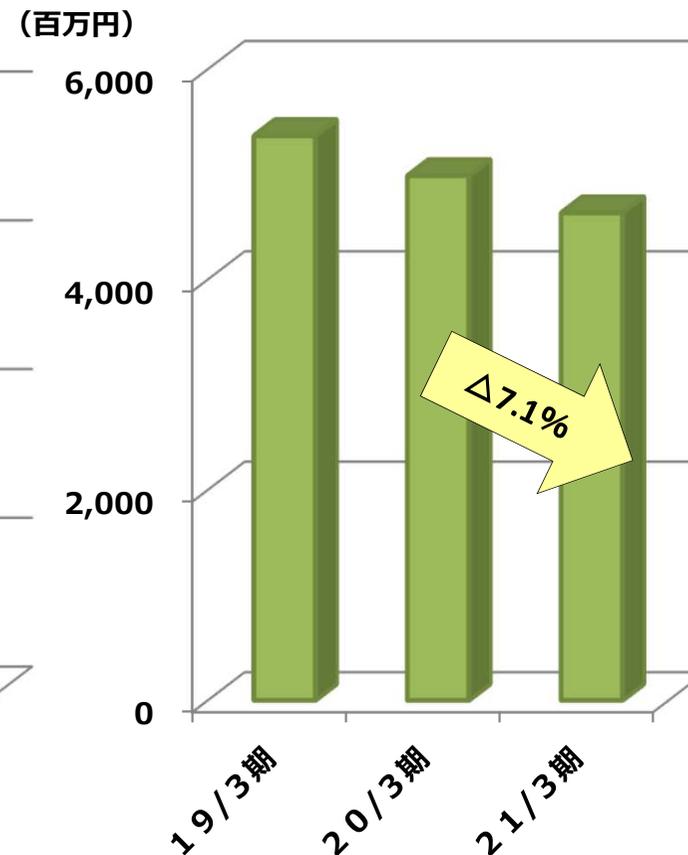
### 制御機器



### F A 機器



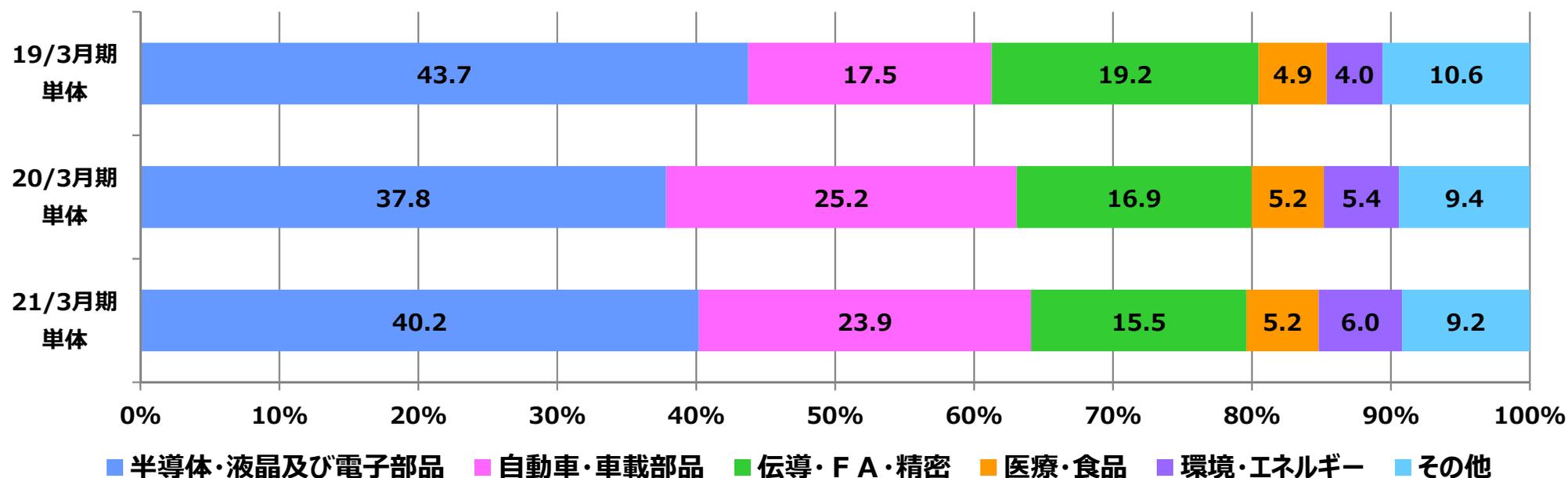
### 産業機器



### Point !

- 【制御機器】半導体及び半導体製造装置や電子部品関連の得意先からの受注が好調に推移
- 【F A 機器】国内自動車・車載部品関連向けや海外販売は好調に推移したものの、コロナ禍の影響を受け、設備投資を控える動きがあり受注が減少
- 【産業機器】半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は堅調に推移したものの、コロナ禍における設備投資減速の影響を受ける

## ＜業種別売上構成比（単体）推移＞



### Point !

#### ＜半導体・液晶及び電子部品＞

半導体市場及びスマートフォン市場の回復を受けシェアが拡大（+2.4 P）

#### ＜自動車・車載部品＞

F A 機器の受注は継続したが、マウンター関連の受注が減少しシェア縮小（△1.3 P）

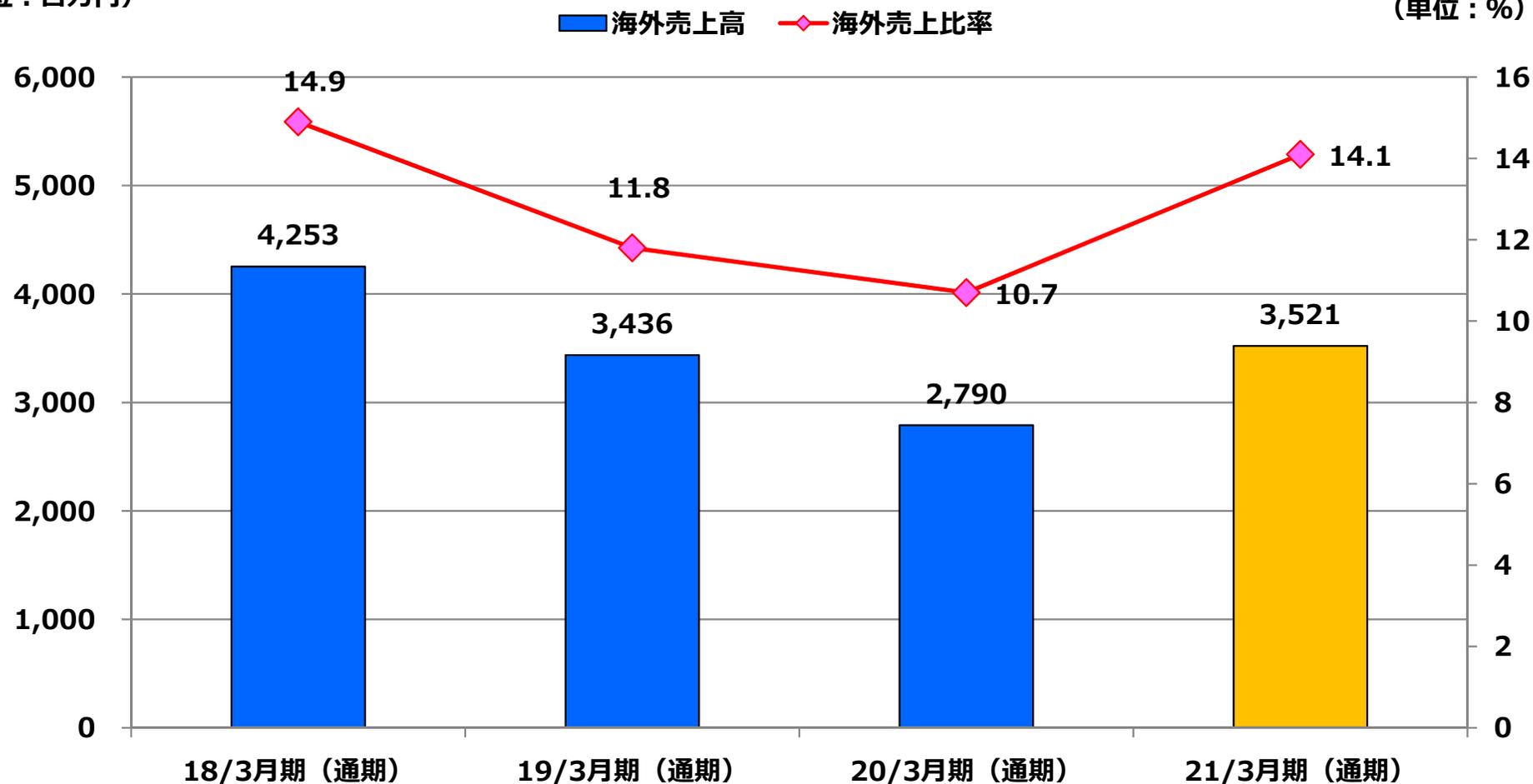
#### ＜伝導・F A・精密＞

工作機械や組立機械関連の得意先からの受注が減少しシェア縮小（△1.4 P）

## <海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

(単位：%)



### Point !

- スマートフォン関連得意先向けの販売が増加したことにより鳥羽（上海）貿易有限公司の売上が大幅に向上したことが主因

## <2021年3月期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	20/3月末	構成比 (%)	21/3月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,896	78.8	20,786	76.3	
現金・預金	9,742	36.7	10,173	37.4	
受取手形・売掛金 ※1	10,999	41.5	10,163	37.3	
商品	109	0.4	368	1.4	
固定資産	5,623	21.2	6,443	23.7	
資産合計	26,520	100.0	27,230	100.0	
流動負債	8,690	32.8	8,397	30.8	
支払手形・買掛金 ※2	8,093	30.5	7,596	27.9	
固定負債	320	1.2	471	1.7	
負債合計	9,010	34.0	8,869	32.6	
純資産合計	17,509	66.0	18,361	67.4	
負債純資産合計	26,520	100.0	27,230	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

### Point !

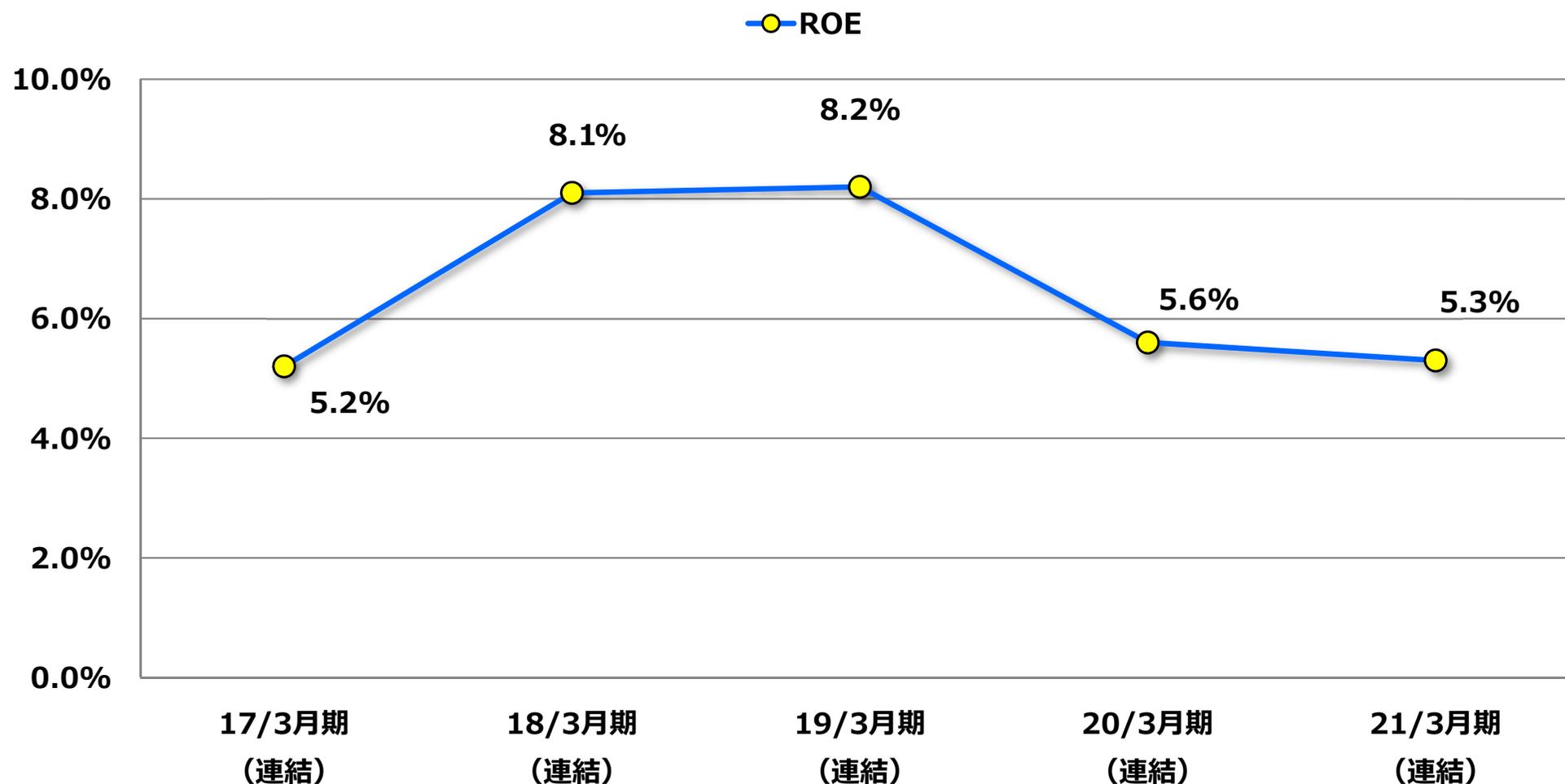
- 構成比に大きな変化はございません。

## ＜連結キャッシュ・フロー計算書の概要＞

(単位：百万円)

	20/3月期	21/3月期	2021年3月期のC Fの主な内訳
営業活動によるC F	89	1,040	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前当期純利益の計上 (+1,384百万円)</li> <li>・売上債権の減少 (+847百万円)</li> <li>・仕入債務の減少 (△503百万円)</li> <li>・棚卸資産の増加 (△258百万円)</li> <li>・法人税等の支払 (△439百万円)</li> </ul>
投資活動によるC F	△27	△598	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期預金の預入 (△500百万円)</li> </ul>
財務活動によるC F	△520	△520	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当金の支払 (△519百万円)</li> </ul>
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△10	8	
現金及び現金同等物 の増減額	△469	△69	
現金及び現金同等物 の期首残高	10,211	9,742	
現金及び現金同等物 の期末残高	9,742	9,673	

## <ROEの推移>



■ ROEは8.5%以上を目標

# I. 2021年3月期決算について



株式会社

鳥羽洋行

## <主要な経営指標>

	第69期 2018年3月期	第70期 2019年3月期	第71期 2020年3月期	第72期 2021年3月期
自己資本比率	63.8%	62.6%	66.0%	67.4%
自己資本利益率（ROE）	8.1%	8.2%	5.6%	5.3%
総資産利益率（ROA）	5.3%	5.2%	3.6%	3.5%
株価収益率（PER）	11.0倍	8.5倍	10.7倍	11.7倍
株価純資産倍率（PBR）	0.9倍	0.7倍	0.6倍	0.6倍
1株当たり当期純利益	295.84円	317.31円	224.91円	219.41円
1株当たり配当額	110円	120円	120円	100円
配当性向	37.2%	37.8%	53.4%	45.6%
純資産配当率（DOE）	3.0%	3.1%	3.0%	2.4%

※2021年3月期の1株当たり配当額は、配当予定額であります。また、同配当予定額は、創業115周年記念配当20円を含んでおります。

## Ⅱ． 2022年3月期の戦略及び見通し

### <2022年3月期の国内市場環境予想>

- ◆ 新型コロナウイルスの変異株の蔓延やワクチン接種の普及が遅れていることもあり、個人消費の落ち込みは継続し国内経済の先行きは依然として不透明
- ◆ 自動車・車載部品業界  
自動車産業は、世界的な半導体不足の影響により生産を抑制される状況にいたっているが、自動車産業全体としては徐々に回復し、C A S E 等の新技術への対応による設備投資もあり、拡大していくものと予想。
- ◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界  
データセンターや高速通信規格「5 G」への投資拡大や自動車産業の回復等、新型コロナウイルス禍でも活況が継続し、設備投資は好調に推移するものと予想。

### <2022年3月期の海外市場環境予想>

- ◆ 新型コロナウイルス、米中対立の継続など不安材料が多々あり、世界経済全体の先行き不透明感は継続していく。
- ◆ 米国におけるワクチン接種は順調に進展している。また、1.9兆ドルの政府による経済対策もあり、米国経済は緩やかな回復に向かうものと予想するが、欧州経済は、度重なるロックダウンの実施やワクチン接種遅れ等あり、回復には時間がかかるものと予想。
- ◆ 中国経済
  - ▶ いち早くコロナ禍から回復した中国の内需は堅調に推移しており、今後も継続していくものと予想。
  - ▶ スマートフォンの中国国内需要は好調に推移しており、「5G」向けを含め設備投資が今後も増加していくものと予想。
  - ▶ 中国の自動車産業は、昨年の政府による「補助金政策」等により回復へ転じていたが、昨年末からの半導体不足の影響を受け減産に転じている。ただし、半導体需給の回復とともに市場は活性化していくものと予想。

### <2022年3月期の戦略>

#### ◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み  
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

#### ◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

#### ◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

#### ◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

#### ◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

## <2022年3月期の業績予想>

(単位：百万円)

	21/3月期 (実績)	22/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	25,040	26,500	5.8%
営業利益	1,272	1,390	9.2%
営業利益率	5.1%	5.2%	0.1 P
経常利益	1,384	1,490	7.6%
経常利益率	5.5%	5.6%	0.1 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,020	7.5%
当期純利益率	3.8%	3.8%	±0 P

## Ⅲ. 補足情報

## 社内基幹システムの更新（設備投資）

- ◆ 目的  
業務の生産性を高めるとともに、CS（顧客満足）の向上を目的とし、当社基幹システムを段階的に更新していく予定です。
- ◆ 投資額：約7億円
- ◆ 導入時期  
2022年10月稼働予定

## 『TOBA, INC. (VIETNAM) CO., LTD』を設立

- ◆ 2014年7月より駐在員事務所として活動しておりましたが、新たに販売拠点として現地法人を設立しました。

商 号： TOBA, INC.(VIETNAM) CO., LTD

代 表 者： 上ノ原 周作

所 在 地： Office No.Unit501-B, 5th floor,V-Tower, 649Kim Ma Street,  
Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh, District, Hanoi

資 本 金： 500,000 U S D

出 資： 株式会社鳥羽洋行 100%

設 立： 2020年6月16日



## 『福岡営業所』の移転

◆旧福岡営業所は、BCPおよび従業員のエンゲージメントを図るために移転を実施いたしました。

●住所：〒816-0941

福岡県大野城市東大利1-8-9

TEL：092-593-1691

FAX：054-593-1692

※電話番号・FAX番号は変更してありません。

●交通アクセス：西鉄天神大牟田線 下大利駅より 徒歩7分



この資料には、2021年5月6日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp